

◎たろぎ議会だより



新成人おめでとろ！

12月定例会議

議長抱負・・・・・・・・・・P 2
11人が質す！・・・・・・・・P 6
政務活動・・・・・・・・・・P 19
S 16

No.114

令和2年2月6日
熊本県多良木町議会発行

二十歳の再会、元気かな？



議長
高橋裕子

新春インタビュー

—— 議長就任以来半年を振り返っての感想を聞かせてください。

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

就任以来、議員の皆さまのご協力を仰ぎながら5回の議会を開催できました。地方創生という流れにおいて、各自治体の「力」が試される中で、課題解決に向かって議会としてはどのように動くべきかを考えさせられる半年でした。

今やっと、対応の形が見えてきたように思っているところです。

—— 議会の取り組みや今後の取り組みについて、お聞かせください。

議会改革の推進を考えております。「提案型の議会運営」を軸に、議会の質の向上を目指します。その流れの中で、町民の皆さまとの意見交換会・執行部との協議会・議員研修等を積極的に行い、政策へ繋がっていきたくと考えております。

また、事務の合理化に向けてペーパーレス化・アウトソーシングの推進を提案しているところです。

—— 今後の抱負・町民の皆様へのメッセージをお聞かせください。

これまでも、これからも「住民主体の町づくり」を念頭に議会運営に努めてまいります。

町民の皆さまの代表である議会といたしましては、議会の使命である「執行機関の監視」「政策の最終決定」をしつかりと認識し、「議会と執行部が両輪となった町づくり」が望ましいと考えております。そのためには、町民の皆さまの様々な角度からのご意見を聞かせて頂きたく、団体・グループ等からの積極的な申し出を宜しく申し上げます。

地方創生の大きな課題である「人口減少」へ対応し、「持続可能な町」として生き残るためにワンチームとなって考えてまいります。

議会といたしましては、町民の皆さまと真摯に向き合い政策へ繋げていくことをお約束いたしますと共に、皆さまのご健勝、そして「子」^{ねずみ}年に相応しい発展の年となりますことをご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

インタビュアー：広報委員会

幼児教育・保育の無償化!! 本格スタート!! (R1.10月より)



保育の無償化スタート



修繕される小・中体育館

令和元年度一般会計歳入・歳出それぞれ
2,731万円を追加して予算総額 71 億 722 万円とした

一般会計追加補正

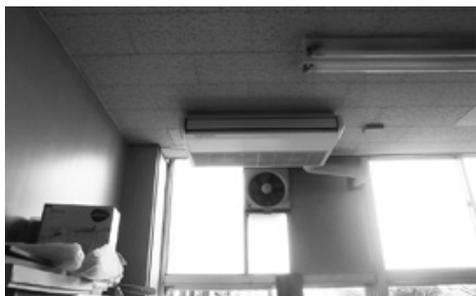
千円切り捨て

《主な歳入》

- 子ども・子育て支援臨時交付金 …………… 1,493万円
(幼児教育・保育無償化の伴う国からの交付金)
- 民生費国庫補助金(教育・保育給付交付金) …………… 1,614万円

《主な歳出》

- 児童措置費(各保育園への教育・保育給付費) …………… 3,225万円
- 小学校管理費(各小学校施設の修繕費) …………… 424万円
- 中学校管理費(中学校施設の修繕費) …………… 202万円
- 町道口の坪覚井線整備事業費(測量設計委託料) …………… 350万円
- 国民健康保険特別会計繰出金(槻木診療所) …………… 100万円



修繕される中学校エアコン



測量される口の坪覚井線

令和元年度12月定例会議は3日から11日までとし、
同文議決・条例等10件・補正予算7件を審議し可決した。
一般質問には11人の議員が執行部の考えを質した。

条例等改正

【指定管理者の指定】

- 「物産館」における指定管理者（物産館利用組合）の指定について **全会一致で可決**
 * 指定期間：令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
- 「町民体育館等」における指定管理者（あいあいスポーツクラブたらぎ）の指定について **全会一致で可決**
 * 指定期間：令和2年4月1日から令和5年3月31日まで



4回目の指定管理となる物産館



利活用が期待される町民体育館

【町道の路線変更】

- 町道の路線変更について（路線名：大久保線の起点・北山下を茗の木に変更） **全会一致で可決**

【条例制定】

- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を定めることについて **全会一致で可決**
 （適正な任用・勤務条件を確保するため、新たに「会計年度任用職員」が制度化。自治体で働く臨時・非常勤等職員の多くが令和2年4月1日から任用移行）

【条例改正】

- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例を定めることについて **賛成多数で可決**
 （賛成10・反対1）
- 一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任用付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて **全会一致で可決**
- 手数料条例の一部を改正する条例を定めることについて **全会一致で可決**
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて **全会一致で可決**
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて **全会一致で可決**
- 町営住宅条例の一部を改正する条例を定めることについて **全会一致で可決**

同 文 議 決

縣市町村総合事務組合同規約の一部変更について

縣市町村総合事務組合同規約の別表第2第3条第1号に関する事務の項中「天草広域連合」の次に「熊本県後期高齢者医療広域連合」を新たに加えることを、全会一致で可決した。

議場で情報通信機器が使用可能に!!

議会における情報通信機器の使用に関する規定

議場での情報通信機器（パーソナルコンピューター・スマートフォン・タブレット端末・携帯電話等）の使用に関し必要な事項を定めることで、議案の審議、審査又は調査等の充実を図ることを目的とする。

特別会計補正予算

国民健康保険（事業勘定）

歳入・歳出に 4,479 万 3 千円を追加して 14 億 2,501 万 2 千円とした。

主な歳出は一般被保険者療養・高額療養給付費の増で 4,300 万円を追加した。

国民健康保険（直診勘定）

歳入・歳出に 100 万円を追加して 1,034 万 6 千円とした。

主な歳出は全額公立病院へ槻木診療所に係る業務委託料である。

上水道事業

13 万 2 千円の減額補正で電気料金・委託料の減である。

下水道事業

歳入・歳出に 229 万 2 千円を追加して 2 億 8,984 万 9 千円とした。

主な歳出は修繕料・負担金の増である。

介護保険

歳入・歳出に 411 万 6 千円を追加して 15 億 5,888 万 2 千円とした。

主な歳出はサービス事業等の負担金の増である。

後期高齢者医療

歳入・歳出に 19 万 4 千円を追加して 1 億 4,827 万 7 千円とした。

主な歳出は還付金・返還金である。

皆さんからの要望書

今回、町保連より提出された要望書は昨年 10 月より実施されている「幼児教育・保育無償化」で副食費を支払う必要がある対象外の世帯がでてくる為に要望されたものである。

要望の内容は①保育料の徴収は町が行うべき②食事は保育の一環であり食材費は無料にすべき③応能負担から実費負担は問題④保育所の事務負担増加と保護者との関係が心配との事である。

議会にはこの要望書とともにその内容を含む町の条例が内閣府令の「従うべき基準」に基づき提出された。

その内容はこれまで 3 歳以上児の保育料に含まれていた副食費が無償化の対象外（年収 360 万円以下の世帯・第 3 子以降の子は無償）とされ各施設での実費徴収となり、国の副食費免除制度等の副食費用の取り扱いに関するものであり、その条例を議決し改正した。

委員会としては要望の内容は一定程度理解できるものではあるが①「幼児教育・保育無償化」となり更なる「食事」までの無料化②施設入所していない子供との平等性③一般財源（約 560 万円程度）からの持ち出し④高額所得者の優遇性の危惧⑤国と県との兼ね合い等の問題性を含んでおり今後とも調査研究を要すべきと考え継続審議とした。

件名及び要旨	提出者	付託委員会	備考
幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の取り扱いについての要望書	多良木町 保育園連絡協議会 10 人	厚生環境文教 常任委員会	継続審議

宇佐 信行 議員



Q 公共施設管理計画は

A 状況調査のうえ計画策定

質問

5年以内に解体や用途変更の必要がある公共施設の管理は。

前田総務課長

中央公民館・槻木診療所など劣化状況の調査をし、策定する。

質問

築後50年を超えている中央公民館の解体は。

今井教育振興課長

古い物は解体し、将来的には複合施設のような施設ができればと考える。

質問

菟川運動公園を貯木場などへ用途変更できないか。

町長

まずは地元住民に相談した上で使い方を検討したい。



老朽化著しい中央公民館

Q 治山・治水対策は

A 県に強く要望

質問

河川整備について県や湯前町との協議は。

久保環境整備課長

掘削工事については県に強く要望し、湯前町と事業促進のため連携を強化する。

質問

久米川内川上流の治山工事は。

水田農林課長

被害状況を確認し、多良木・湯前両町で熊本南部森林管理署に治山事業の要望を行っている。

Q 農林業の振興策は

A 人材確保と法人化を

質問

農業基盤強化策は。

水田農林課長

認定農業者支援と農業経営者の法人化を進めるとも米ブランド化に取り組む。

質問

スマート農業加速化実証プロジェクトへの取り組みは。

水田農林課長

情報収集に努め、農家の意向を確認していく。

《その他の質問》

- ① 企業と協働の森づくり事業への取り組みは
- ② 鹿・猪肉の加工処理施設整備は
- ③ 役場内の機構改革は



葦が生茂る久米川内川

猪原 清 議員



質問

水防計画における防災士の位置づけは。

前田総務課長

来年度の水防計画の見直しの際に「防災士」の位置づけと役割を明確にする。

Q 今後の水防計画は

A 消防署・防災士会と連携

質問

防災担当に災害対応経験ある職員の配置は。

町長

自衛官・消防士OB等の配置は今後防災担当課と協議する。

質問

ハザードマップの見直しは。

前田総務課長

来年度ハザードマップを更新し、スマートフォンへの配信システムも構築できればと考える。



国土強靱化工事

(※)防災士とは「自助・共助・協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人である。

Q 今後の町のあり方は

A 町民の意見集約を

質問

行政区の再編は。

前田総務課長

新たな行政改革の中で行政

Q 総合グラウンドの今後は

A 議会・住民と協議を

質問

奥球磨駅伝計画では、町総合グラウンドがゴールになっていることから、これを機会に防災拠点兼ねた400mトラック整備は。

町長

スポーツを通じた関係人口を作っていききたいが、補助金等含め検討課題を議会・住民の話を聞いて進めたい。

質問

施設整備に関して上球磨地域振興の観点から各町村への働きかけは。

町長

地元企業の支援、交付金・補助金があるか情報収集して議会と進めていきたい。

区の方について検討していきたい。

質問

企業誘致への取組は。

岡本企画観光課長

人材育成を図りながらテレワーク推進を行い、働く場の確保に力を入れる。



スポーツ振興で町づくりを

《その他の質問》

①実効性のある若者定住方策は

豊永 好人 議員



Q 河川氾濫等の安全対策は

A 掘削・樹木伐採を実施

るが氾濫・越水等の安全対策は。

久保環境整備課長

現在、国土強靱化対策事業として河道内掘削及び樹木伐採工事が実施中であり、併せて支流の河川についても県事業として同様に実施中である。

町長

知事・九州整備局長・流域市町村との検討会議の場において、中鶴橋上流域の対策も要望している。

質問
台風19号による記録的な大雨により、河川が氾濫し堤防等の決壊が発生した。町にも1級・2級の河川があ



樹木伐採された河川敷

Q 通学路の危険箇所は

A 各学校で調査確認

質問

大阪で地震によりブロック

壁が崩壊し、通学中の児童

が下敷きになるという事故

があったが、ブロック壁等

の危険箇所の確認は。

今井教育振興課長

学校・地域から指摘があった危険箇所は、担当者が現地確認を行っている。

佐藤教育長

各学校で調査確認している。公有地については早急に対

Q 高校跡地は無償か

A 完全無償で要望

質問

中学校の移転が予定されている高校の跡地は無償なのか。

町長

県議会の承認もいるので現段階で断定できないが、賃貸及び土地購入は全く考えていない。完全無償譲渡で要望している。

《その他の質問》

- ① 農業振興について
- ② 小・中学校AEDの取扱いについて
- ③ 議事録作成について
- ④ 町長の公約について
- ⑤ 交際費の公表について



ブロック壁が撤去された黒小

応できるが、私有地については修理撤去依頼しかな

久保田 武治 議員



質問

町長は子育て支援策に取り組んでいるが、来年度の支援は。

町長

①中学校部活の社会体育への移行に伴うスポーツクラ

Q 保育園副食費の支援について

A 意見を聴きながら対処したい

プの入会金の一部補助②町外の医療機関の償還払いから現物給付への変更③町保育園連絡協議会要望の副食費（4千500円）の対応等協議を進める。

質問

消費税増税に伴い、3歳から5歳までの保育料は無償化された。副食費は免除対象はあるが、年収360万円以上の世帯からは徴収することとなった。県内でも芦北町など12市町村が独自に支援し、子育て世代の負担を軽減している。町保連の要望書やこれら自治体の対応についての考えは。

町長

従来の保育料が21万円減額となり、徴収額が約5万円ほどになる。議員間でもそれぞれ所見があると思うし、各方面の意見も伺い対処したい。

Q 法人化等に移行しない農家支援は

A 作業委託や利用権設定を進める

自給率に大きな打撃を受け懸念や不安がある。農業法人や集落営農の取り組みが進むなか、法人化等に移行しない農家の支援は。

質問

Q 避難所のエアコン設置を

A ささまざまな方法での試算をしたい

「想定外」の災害の対応策、特に高齢者や障がい者の避難所の環境整備として、一カ所だけでも小学校体育館のエアコン設置を検討できないか。

質問

町長

必要だが、空調ダクトで拡散するなどの検討や国の補助・設置費用・レンタル費用などの試算を行う。

質問

交通手段を持たない高齢者等の避難所への送迎は。

水田農林課長

第1種・2種農家で営農の意思がない、機械等の更新ができない農家には認定農業者・法人・地区にある機械利用組合への作業委託や農地の利用権設定による法人への農地集積を進めるなどの施策を考えている。

いろいろな方への対応を！



前田総務課長

防災計画書には送迎の具体策は記載していないが、防団に積載車等を利用しての支援をお願いします。

落合 健治 議員



Q 中学校移転後の利用は

A 議会と住民に相談

ならない③インクルーシブ教育で高い評価を受けるはずだと考える。

佐藤教育長

支援学校が隣接することで、中学校の先生の能力向上、又は将来小学校が統合された場合、場所的に交流や共同活動がやりやすい。

質問

移転にかかる金額と現地建設との比較は。

町長

金額は独り歩きする場合がありますので言えないが、移転は節約になると考えている。

質問

インクルーシブ教育を推しているが、実際に支援学校の訪問はしているか。

町長

運動会は毎年、発表会は1回。現在の保護者会長とはしっかり話をしている。

質問

中学校の跡地利用は。



どうする中学校

町長

5年先なので、それまでに議会・住民と行政座談会等を行いたい。又、様々な方面から活用したいと言う申し出があるという展望を持っている。

質問

高校跡地が無償譲渡でない場合は。

町長

無償譲渡を要望しているが、違った場合は議会と相談していく。

Q 学校でのいじめ対策は

A 相談に合わせて対応

質問

先生同士のいじめ等の対応は。

今井教育振興課長

マニュアルは作成していないが、不祥事防止委員会・管理職を中心に対応していく。

質問

不祥事防止委員会とは。

今井教育振興課長

委員は、校長・教頭・教務主任・養護教諭などで構成

質問

保護者と先生のトラブルの対応は。

今井教育振興課長

事例は無いが、教育委員会を窓口として相談にあわせて対応していく。

《その他の質問》

- ①地域の給油所との取り決めは
- ②今後のInaho(株)との展望について

- ①危険回避②授業の妨げに
- 町長
- 中学校移転のメリットは。
- 質問



坂口 幸法 議員



Q 「SDGs 未来都市」 にチャレンジは

A 申請出来れば



首相官邸ホームページより抜粋

質問 SDGs（エスディージーズ）に沿って地方創生の方策を掲げる「SDGs 未来都市」にチャレンジする考えはないか。

岡本企画観光課長 意味や重要性を職員全体で認識共有をしながら、持続可能な町を構築するための開発目標を設定していくことが必要である。

町長 時間的制約はあるが担当課に頑張ってもらって申請できればと思う。

Q 高校跡地に全天候型陸上競技場を

A 中学校新設移転で動いている

質問 上球磨地域振興並びに地方創生の観点から、多良木高校跡地（県有地）に上球磨の「にぎわい創出の場」として、将来的に環境・社会・経済の3本柱が調和した持続可能な町づくり実現のため、全天候型陸上競技場誘致及び整備の要望を上球磨連携で出来ないか。

町長 高校卒業生が存続を求めている野球場・陸上競技場・セミナーハウスが残せるように県に要望している。



綺麗に整備されたグラウンド

よって中学校新設移転で動いているので理解してほしい。

Q 南稜高校と連携強化を

A 可能性も含め検討したい

質問 南稜高校食品科学科3年生が球磨焼酎を醸造している。そこで、本町の蔵元と連携してふるさと納税の返礼品として開発に取り組む考えはないか。

前田総務課長 地域連携の一環として、取り入れられるようであれば

町長 可能性を含め検討したい。新富町「こゆ財団」のように町から独立した組織が、ふるさと納税全般を運営し成功しているので検討したい。（※「こゆ財団」についてはP18参照。）

村山 昇 議員



Q 総合防災訓練は

A 31行政区の参加

前田総務課長

事前に区長へアンケートを取り「自主防災組織研修会」を開催し訓練の流れを説明した。参加行政区へは委託料も組み、47行政区中で31行政区の参加で実施した。

質問

今年、避難勧告が3回出されたが、町民に対する周知と避難勧告の基準は。

前田総務課長

避難者数は、実際と報道が異なりタイムラグがあった。警戒レベル等は、気象庁の避難勧告の発令の基準により行っている。また土砂災害警戒区域住民には、梅雨時期前に郵送にての通知や区域外にも回覧による周知を図っている。さらに消防団の個別訪問・防災行政無線やデータポン等での取り組みを行っている。

質問

直轄河川球磨川での天子橋上下流樹木伐採と河道掘削

総合防災訓練の住民・防災本部の対応・体制は。



全区参加が望まれる防災訓練

工事の状況は。

久保環境整備課長

国土交通省・球磨地域振興局では、緊急3カ年国土強靱化計画に基づき実施されている。期間はR2年3月10日までで、天子橋から上流の左岸工事で予算は1億2千300万円余である。また県の管理河川工事は6工区に分かれR2年2月末までで、事業規模は7千800万円余である。

Q 農業問題対策は

A しっかりとバックアップ

質問

日米貿易協定に基づく畜産の対応策は。

水田農林課長

単独補助事業として家畜のふん尿も受け入れている。外国製品に対抗するため安全性、品質向上を重点目標に置き、支援をしていく。

町長

肉用牛、繁殖牛、そして酪農関係についてもしっかりとバックアップをしていく。

質問

就農人口の増加対策は。

水田農林課長

国は「農業次世代人材投資事業」町単独では「農林商工担い手対策補助金」を実施し、雇用対策としては農業法人等には国県による

「農の雇用制度」町は「農の雇用制度フォローアップ事業」を実施している。



バックアップが望まれる畜産業

《その他の質問》

①地域おこし協力隊の活動について

魚住 憲一 議員



質問
県道33号線の3工区（大園下地区）の工事は順調に進んでいるが、脇地区の1工区の進捗状況は。



広がった大園下地区の県道

Q 県道33号線は

A 用地取得後、随時着手

久保環境整備課長

用地測量業務が実施され、来年度から工事に着手予定。

質問

2工区（小林・青蓮寺）区間の計画は。

久保環境整備課長

基本的には、バイパス案で決定している。

質問

住民説明会を開き、道路拡張かバイパスか検討する場を持ってないか。

久保環境整備課長

開催の意向を聞いている。

Q 政策の評価は

A 評価は60%

質問

就任から3年となるが、成果と評価は。

町長

行事に振り回されたが、道路事業・教育・その他60%くらいはできている。今後精度を上げていく。

質問

R2年度、最も重要な事業は。

岡本企画観光課長

人口減少に歯止めが出来るような事業と共に、各課重要な事業を沢山抱えているので、全職員一丸となつて

Q いじめの解消と対応は

A 相談できる体制づくり

質問

全国では教職員間のいじめもあるようだが対応は。

佐藤教育長

人間関係づくり・相談できる体制づくり・研修などそ

れに向けて対応する。

質問

今後の取り組みは。

佐藤教育長

事件の実態把握・原因の分析・和解の橋渡しをする。

取り組んでいく。

質問

行政座談会の計画の予定は。

町長

R2年度に必ずやりたい。

子ども向けの対策委員会はありますが、今後は教師向けのいじめ対策委員会も設置する必要があると思う。

《その他の質問》

- ① 災害に強いまちづくりについて
- ② 町営住宅について
- ③ 光ブロードバンドについて



期待される座談会

林田 俊策 議員



Q 住宅耐震化補助は

A 補助率は1/2・上限60万円

質問
国県も防災・減災に向けた施策として「建築物耐震改修促進」を進め、市町村と連携し取り組んでいる。町の耐震化の取り組みや補助は。

久保環境整備課長
H30年度から耐震診断に加え、耐震改修設計、耐震改修工事及び建てかえ工事の補助事業に取り組んでいる。住宅耐震化補助率は1/2で上限60万円である。広報たらぎの掲載等で周知し、来年度も引き続きこの事業を実施していく。

町長
補助金を業者の方に渡すというだけなので、検討する。

質問
この制度の「代理受領制度」をすべきでは。

(※1)
代理受領制度とは、申請者が耐震改修等にかかった費用から補助金額を差し引いた金額を工事業者に支払い、申請者から委任された工事業者に町が直接補助金を支払う制度で建築主の改修資金の借入額を少なくできるという効果が期待できる。



(図面あり) 耐震診断 5,500円 または (図面なし) 19,000円
耐震改修等補助金 最大 100万円

〇熊本県住宅耐震化推進課 電話 096-328-2449
〇熊本県建築安全推進課 電話 096-385-0771
〇熊本県建築住宅センター <http://www.kbmhna.jp/>
〇熊本県建築住宅センター 熊本県建築 電話 096-333-2535

詳しくは熊本県住宅耐震化支援事業 HP をご覧ください▶



県が補助します

Q 高齢者に事故防止補助を

A 県の状況を調査し検討

質問
県はアクセル・ブレーキの踏み間違いを防ぐ事故防止装置に対する補助を九州で初めて行う。県の要綱は。

前田総務課長

県はR2年1月から70歳以上を対象に上限3万円として100台程度の予定で補助をする。

質問
町も単独の2万円程度の補助を行えないか。

町長

免許返納がなかなかできない状況で県の状況を調査し検討していく。

*「県の免許返納状況」はHPをご覧ください。(https://www.pref.kumamoto.jp/kij_29652.html)

(※2)
事故防止装置補助とはペダルの踏み間違いなどによる急加速抑制装置としての機能を有する安全運転支援装置(後付け急加速抑制装置)で設置を推進するための補助金制度である。

《その他の質問》

① スマート農業の取り組みは

中村 正徳 議員



質問
課の編成は11年間変わっていない。機構改革も含め課の再編を4月までに行うのか。

Q 機構改革はいつまでに

A 4月までに行う



機構改革・課の編成は？

町長
機構改革も含めて4月1日から新しい課で出発したい。

質問
多様化する諸問題に対応する「オール多良木推進課」(仮称)の考えは。

町長
各課が担当している諸問題を一緒にまとめるのは難しいと思う。「オール多良木」については専門的知識を有した人材がいるので、これから3か月の間に検討したい。

Q どうする「えびすの湯」

A 時間を頂きたい

質問
入浴料が一人当たり平均250円に対し経費は620円で、年間4千万円〜5千万円の赤字である「えびすの湯」を「福祉事業」と連携できないか。

町長
福祉との連携は良い案なので、将来的には施設をどのようにしていくかを議会と一緒に考えるので時間を頂きたい。

Q 予算編成は

A 2月中旬までに

質問
R2年度予算編成の時期だが、予算査定への町民・議会からの要望はどの様に反映されるのか。

理してあるものの中から、特に重要なもの・優先順位の高いもの・緊急性のあるものなど、予算編成に反映していく。

前田総務課長
要望については関係課で整



予算編成を迎えた庁舎



どうする？えびすの湯

源 嶋 たまみ 議員



Q 備蓄食料は

A 女性の声を反映

質問
総合防災訓練の評価と反省点は。

前田総務課長

参加者2千人以上の計画で、4箇所の避難所を開設し県と連携しながら中学生も参



乳幼児に必要な液体ミルク

加した。また情報の窓口を整理しながら行った。災害時における情報収集のための本部と避難所をつなぐテレビモニター等の設置の必要性を感じた。

質問

災害時における授乳の支援並びに母子に必要な物資の備蓄として、乳児用液体ミルクや紙おむつ等を備えられないか。

町長

備蓄食料の検討会に女性の声が反映できるよう保健師等の女性に入っていた。

Q 公立病院の運営方針は

A 4町村で協議していく

質問

公立病院は地域には無くてもならない病院で救急医療のできる病院として、より良い運営をして欲しいとい

うことは地域住民の願いだが、今後の運営方針は。

町長

地域に無くてもならない病院なので開設者協議会の4

Q 施設の安全管理は

A 各施設の劣化調査中

質問

各施設の安全管理対策は。

今井教育振興課長

町民体育館は指定管理者から年4回報告をうけている。R2年度町民体育館の天井を改修予定であり、早めに町民に通達したい。



利用の多い町民体育館

質問

修理計画リストはあるのか。

前田総務課長

各施設ごとの劣化を調査中で、今後計画書を策定予定である。

黒木町民福祉課長

えびすの湯はレジオネラ菌対策としてパイプライン等の洗浄や業者による水質検査、2時間ごとに検査薬を使った簡易検査をしている。CO2削減ポテンシャル診断等の結果を踏まえ協議していく。



地域医療の拠点

町村長との会議は頻繁に行っており、意見は一致している。これからも4町村で協議していく。

議員
研修

老朽化した公共施設は、「時限爆弾」である！

上球磨町村議会議員研修会

東洋大学客員教授の南学氏による「公共施設マネジメント」をテーマにした研修を受けた。

老朽化した公共施設は、住民の生命財産を脅かす「時限爆弾」である。なぜなら、公共施設の不備で住民が巻き込まれる事故が起きた場合は市町村の職員に対して「業務上過失致死傷罪」が適用されるので施設所有者（市町村）は、業務上利用者の安全を確保できる施設を提供する責務を負っているのだ。公共施設でもインフラは削減できず、削減できるのは「ハコモノ」だけ。ハコモノを最低限にするのが議員の仕事である。

「既存の施設を使って何かをできるのではないか？」公共施設である学校の役割を再検討しコンパクト化と一部転用等で複合化多機能化する。（学校でも夜間休日の活用は可能である。）



公共施設を考える

さらに、体育館・公民館・プールは必要か？（既存・民間の施設が活用できないか）など、発想・見方を変えるだけで成功した全国・海外の取組をヒントに数十年単位の時代変化を想定して公共施設を活用することとそのための議会の役割について学ぶことができた。

文責 猪原 清

広報
研修

議会広報が変われば町が変わる！！

～ 待ったなし！！大胆刷新へ真剣討議～

熊本県町村議会広報研修会

議会広報のあり方について、熊本日日新聞社 NIE 委員・越路真一郎氏を講師に研修を受けた。

研修では議会広報が地域で存在感を増すためには今何が必要か、「持続可能」な広報のためにどう工夫し変革すべきかを講師と参加町村議会広報担当で討議した。

議会の情報を住民にわかりやすく、見やすい紙面にするために「余分なものを捨てる」、「同じ言葉を使わない」、「自分にわかることでも人にはわからない」という視点を持ち、全国紙・週刊誌からも学ぶ。さらに、広報誌づくりは広報委員会および事務局が主導権を持つ。その結果、議会広報が変われば町が変わる！！

議会がよりよい町づくりにどう取り組んでいるか。住民にわかりやすく伝わりやすい広報にするためには、広報誌の作成プロセスから刷新しなければならないことを痛感した。

文責 猪原 清

町村議会広報研修会



講師：越路 真一郎氏

視察
研修

「こゆ財団」に学ぶ新しい町の形

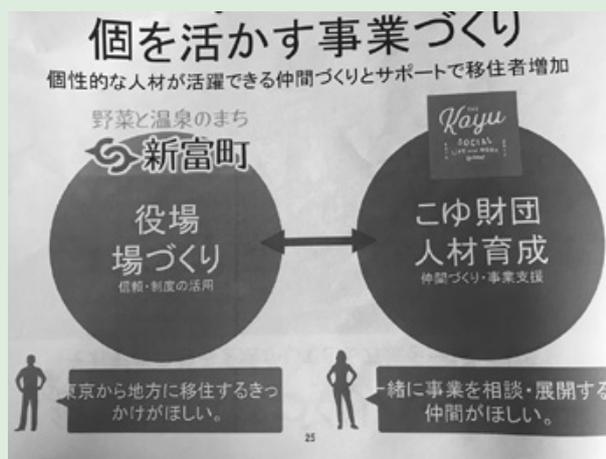
宮崎県児湯郡新富町

2017年4月に設立した「こゆ財団」(※P11)の設立の経緯や目的・財団が運営するふるさと納税事業と地方創生に向けた様々な取り組みの視察研修を行った。

「ふるさと納税事業」「起業家育成」「空き家対策」「移住・定住」等を町と互いにカバーしあいながら地域商社として活動し、その考え方や自由度そして問題に対する突破力には驚かされるばかりであった。財団側は常に柔軟な姿勢を持ちながらも攻めの姿勢で成功と失敗を繰り返しながら結果を出し続けている。

行政の方も財団と連携をとりながら町民と地域に理解してもらえるように最大限の努力がみてとれた。財団側が常に攻めの姿勢で色々な事案に取り組めるのも行政側のきちんと精査しながらの財団を守る姿勢があるからだと思う。特に町長の「**変革には2年耐える必要がある**」「**財団の名前に自分の町の名前を使わなかったのは地域で発展していく為**」という言葉は胸にささった。本町も地域全ての発展を視野に入れた議論をしていく必要があるし、我が町の地方創生事業のあり方へのヒントを得た。

文責 落合 健治



町と財団の連携を深め・・・

行政
懇談

各種団体集い・語る

地域農林商工懇談会

「多良木町の現状と将来の展望について」をテーマに懇談会が行われ、新設の補助事業への要望や地方創生推進交付金事業の実績報告・上球磨地域における農業の現状についての説明があった。

事業報告として第7回「たらぎ農林商工祭」には計1万1千人の来場者があったが、売り上げは700万円程減、その他プレミアム付糸びすな商品券の販売状況やR2年度の植木市についての紹介があり、各団体の忌憚^{きたん}の無い意見が交わされた。

文責 源嶋たまみ



賑わった農林商工祭

政務活動

三重県に「行って・見て・聞いた」

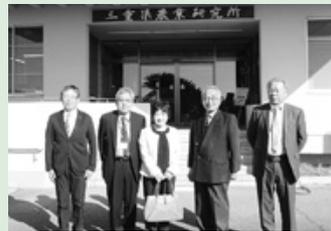
総務産業常任委員会

待ったなし!! の課題である少子高齢化・自然災害対策・企業誘致・移住定住・スマート農業・森林環境整備に積極的に取り組みが成されている2町・1施設に於いて、第2期総合戦略策定の糧とすべく研修を行った。

三重県の「どこで?何を?」

紀北町役場 … 県南部に位置し、人と自然豊かな海と山の町である。

*災害予防・減災体制の整備 *森林環境整備 *移住定住促進について研修。



農業研究所研修

多気町役場 … 県中央部に位置し、交通の要所となっている町である。流通の利便性から、シャープ、京セラなど多くの企業が事業を展開している。特産品としては、柿・伊勢いも・松坂牛などが有名。
*多気町における農業支援 *高校生レストラン(まごの店) *企業誘致 について研修。

三重農業研究所 … *トマト・いちご栽培に関する実証拠点施設におけるスマート農業について研修。

三重で「見えてきたもの」・「特徴的なもの」について報告

森林環境整備について、「農林支援員」として、2名の支援員を雇用し担い手不足に対応している。移住定住促進については、町のホームページからハローワークにアクセス出来るようにし、空き家情報・求人情報・子育てに関する支援等を提供し若者の移住定住促進に繋げている。

「まごの店」レストランは相可高校食物調理科(40名)が部活動の一環として土日祝日のみ営業し、地元のシンボルとして地域経済の一翼を担っている。

イチゴ生産に関し現在、ランナーと呼ばれる子苗を切り取って株分けされているが、増殖率の低さと病虫害やウイルスが問題となっていた為、種子繁殖型品種が開発され増殖効果が飛躍的にアップし強い苗が得られる効果が期待できる。

文責 中村 正徳

政務活動

本町にも「収穫ロボット」を

厚生環境文教常任委員会
in 鎌倉(神奈川県)

inaho株式会社「スマート農業」・葉山町役場「議員報酬・タブレット導入」のニヶ所3つのテーマに沿って研修を行った。

inaho株式会社では、アスパラガス収穫ロボットによる実際の収穫を視察し、契約農家とのパートナーシップ契約内容等の説明を聞いた。収穫ロボットの動きを見て、そのスピードと正確さに自分のイメージとの差を知ると同時に新しい農業の未来を垣間見た。又、その契約内容にベンチャー企業ならではの視点があり、「本町でも十分に受け入れができるのでは」と心踊る研修であった。

葉山町役場での研修では、議員報酬のあり方を時代背景と共に説明を聞き、更にこれからの議員報酬のあり方を見た。タブレット導入に関して、少しでも町民に情報公開と理解をしてもらうことを念頭におき、簡素化すべき所と残すべき所をきちんと議論していくべきだと感じた。

今回の研修は、ただの研修で終わらず事なく本町の5年後・10年後を見据えての議論のきっかけにすべき研修であった。

文責 落合 健治



アスパラ自動収穫ロボット

初冠雪の霊峰市房山



豆ちしき



多良男

「区長」はなくなっとナ、
今度の議会で決まったとやる？

そらひと安心したばってん
一体どぎゃんなっとナ？

身分の変わっとナ？

へーじゃー今までの仕事は
そのまましてくいやっどか。
報酬んごたつとは
そのままくれやっどじゃろタイ。

区長さん達はこんまで「守秘義務」
なんかのあったとやろばってん、
そら、どぎゃんなっとナ

色々あつどばってん、3月までにやー決まっ
とじゃろで、これまでんごと地域んこた一、
みんなで協力して良か方向にせんばんよナ

区長はなくなっとナ？

じゃなかー、「区長も公民分館長」も
こんままあつとパイ

今度、「働き方改革」ん中で国の法改正があつて、
区長やら公民分館長の身分が変わつとタイ。

区長さんたちはこれまで
「特別職非常勤職員」という立場やったとたい。
新しか法律で要件の3つあつとばってん、
そいに該当せんところのあつて、
全国的に今度みんな変えていきやつとタイ。

そらー今度どぎゃん決まつかわからんばつ
てん、そん仕事ばどこに頼むかたいナ。
「区長」さんに頼みやつか、
「区長自治会」かそいとも「区」に頼んで
区長さんは自分の区費から
貰いやる方法もあつどナー

そらー役場が契約の中で頼むらしかパイ。
なんさま、こいからたい。



球磨雄

編集後記

「令和の由来」

「万葉集」の梅花の歌 32種の序文
初春の令月にして氣淑く風和ぎ
梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の
香を薫す

花の美しさを讃えている歌だ
そうです。

令和2年は12支のスタートの
年「子」は子孫繁栄・素早く動
き回る姿から商売繁盛・物事の
始まり、新たな一歩を踏み出す
とも言われています。令和元年
は災害の多い年でしたが、今年
は東京オリパラもあり楽しみな
年となりそうです。少子高齢化
が叫ばれているなか干支にちな
んで沢山の子供の誕生があるこ
とを願っています。今年も広報
委員一同より良くわかりやすい
広報をお届け出来るよう頑張っ
ていきます。

皆様にとって良き年となりま
すように！（文責 源嶋たまみ）

広報特別委員会構成

- ◎ 林田 俊策 中村 正徳
- 源嶋たまみ 坂口 幸法
- 猪原 清 落合 健治